

2008年8月29日

# 村井県政 2 周年

## 報 告 書

(2008年7月25日～8月25日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	2
III	今回のポイント	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆調査の目的

村井仁知事は9月1日で就任2周年を迎え、任期1期目の後半に入る。田中前県政と対照的に、めだつた波乱がなく推移してきたが、課題とする財政立て直し、ものづくりを軸とする県産業の振興、観光のこ入れなどの取りくみはどうか。「情報公開などの面で“超田中”はかなり進んだ。非常にまともな県政が進行している」(就任2年の感想・8月上旬の定例会見)との自己評価だが、いよいよ具体的な成果が吟味される段階に至った。

森林づくり県民税の創設という独自色に加えて、こんごは路線バスなどの公共交通、医師不足、県立病院の独立法人化、子育て支援…と、村井知事の手腕が試される課題が増えている。

国政が衆参両院の「ねじれ状態」と解散・総選挙をにらんだ攻防により、ある種の停滞が続いており、地球環境、対テロ対策、後退局面に入った国内景気など、内外課題に対する政治のスピード感の欠如が指摘される。

大都市圏と地域の格差が広がり、地方自治の着実な進展、独自性の発揮が求められるなかで、この2年間の村井県政をどのように評価し、任期後半に託す期待はどうか、県民世論の動向を探る。

## ◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む20歳以上の男女1000人
▽抽出方法	層化三段無作為抽出法。県下“有権者の縮図”となるように、東北中南の4地域に分け、一定のルールで選定した市町村の選挙人名簿をもとに抽出した。
▽調査地点	19市 11町 9村
▽調査方法	郵送回収（一部ファクス・インターネット）
▽調査時期	2008年7月25日～8月25日
▽有効回答	567人（男性281人 女性286人）
回収内訳	郵送 513人（90.5%） ファクス 30人（5.3%） ネット 24人（4.2%）

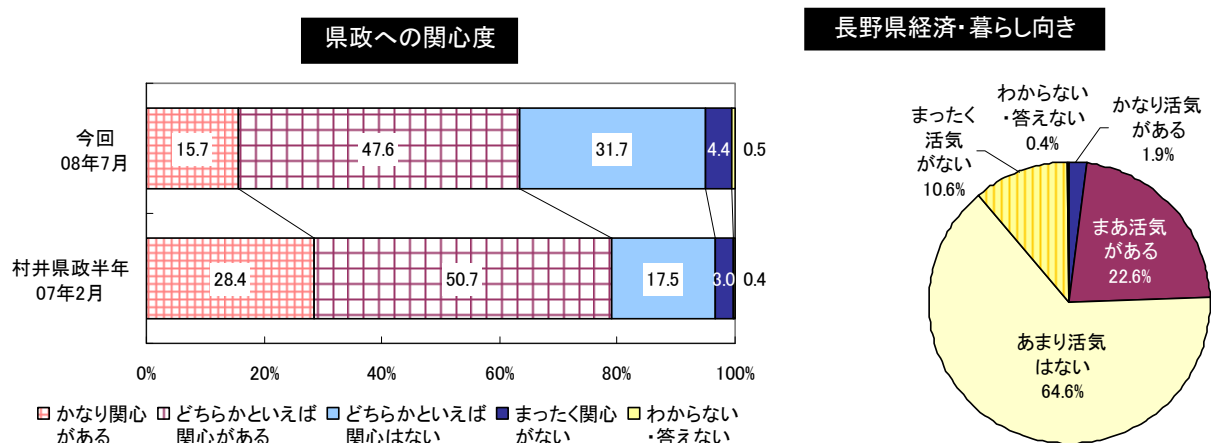
<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

## II 結果の概要 村井県政と政策・運営手法

### ★県政への関心減り 63% ★県経済・暮らし向き「活気ある」25%

県政に「かなり関心がある」が16%で「どちらかといえば関心がある」を加えた総体で63%。2007年2月の就任半年の「かなり関心」28%、「どちらかといえば関心」を加えた総体の79%に比べて落ち込みが著しい。

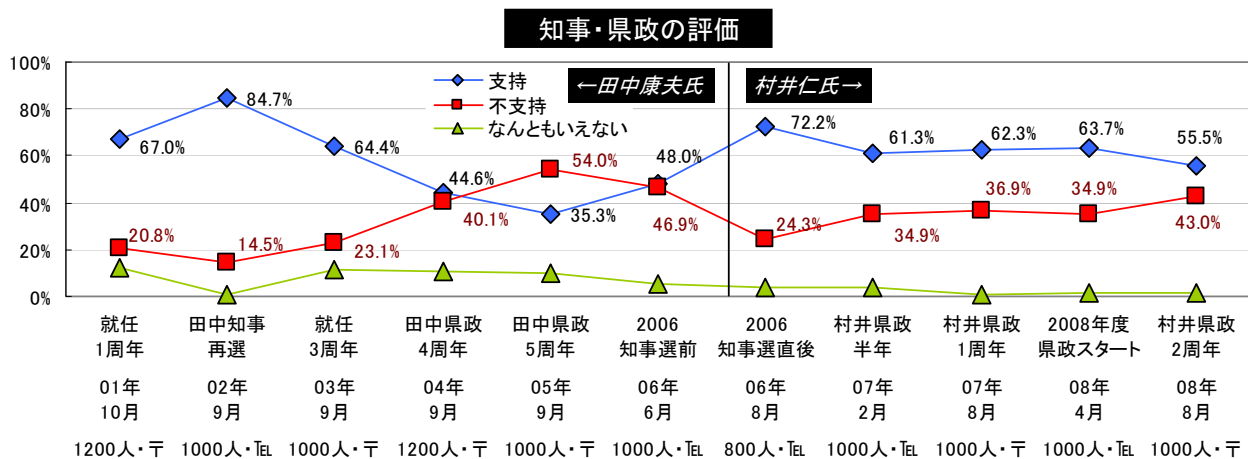
長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について、全体として「活気がある」は25%にとどまり「活気がない」が75%の高率。今年度スタート直後の調査では「活気がある」総体で30%台に届いたが、再び就任1周年時のレベルに戻った。



## 村井知事の評価

### ◆ 支持 落ち込み55.5% 不支持 43.0%

就任2周年の村井県政・知事に対する評価は「支持する」が総体で55.5%。今年4月よりも8ポイント余減少した。不支持は43.0%。いずれも「どちらかといえば」の消極的なスタンスが多くを占める。72.2%を記録した初当選時以来、60%台をキープしてきた支持率が初めて“大台割れ”した。



<注> 田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示。

男性の支持が比較的高めで、女性では不支持が45%に伸びる。

職業層では、農・林・漁業で支持が90%近くに突出し、役員・管理職・自由業でも70%に達する。半面、専業主婦で不支持が54%と最も高く、事務系・技術系勤め人では支持・不支持が伯仲する。

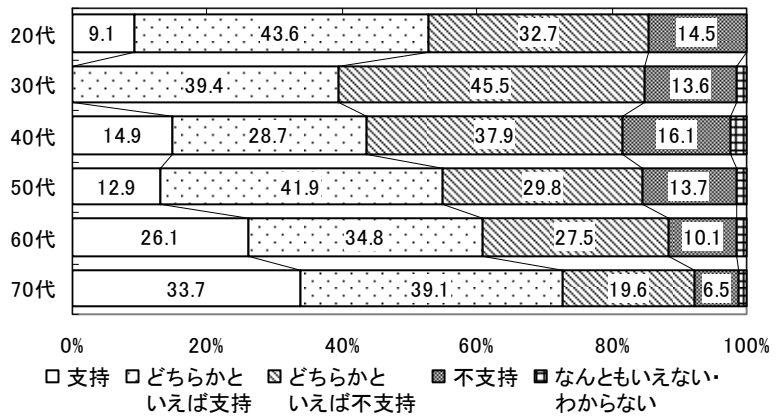
		01年 10月	02年 9月	03年 9月	04年 9月	05年 9月	06年 6月		06年 8月	07年 2月	07年 8月	今回
支持する		36.6%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%		35.9%	20.6%	19.6%	17.8%
どちらかといえば支持する	田中康夫氏	30.4%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	村井仁氏	36.3%	40.7%	42.7%	37.7%
どちらかといえば支持しない		10.1%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%		14.0%	24.6%	24.9%	30.7%
支持しない		10.7%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%		10.3%	10.3%	12.0%	12.3%
なんともいえない・わからない		12.0%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%		3.6%	3.8%	0.9%	1.4%
不明		0.2%	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	

◆年代層 70代「支持」突出73% 30、40代では不支持上回る

高い年代層ほど支持が高まり、70歳以上（以下「70代」と略記）では73%と最も高くなる。不支持は30代の59%を最高に、40代でも半数を超える。

北信で支持が60%と最も高いが、中信では53%にとどまる。また、農村部で支持が65%と高いが、近郊住宅地では不支持が52%と上回り、市街地は支持が若干上回る程度となっている。

◆年代別では

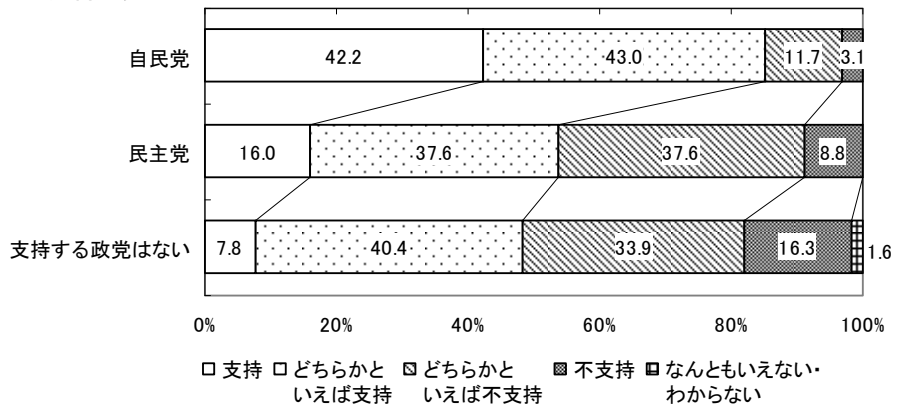


◆政党支持層 自民党で「支持」80%台キープ 民主党54% 無党派層は不支持リード

今年度スタート時に比べて、自民党の支持層では「支持する」が85%と高水準を維持するが、民主党ではやや下降して54%。共産党19%、公明党50%とともに落ち込みが著しい。逆に社民党は56%にやや増えた。

無党派層では支持が19ポイント上回っていたが、今回は支持48%－不支持50%と、僅差ながら逆転が生じた。

◆支持政党別では

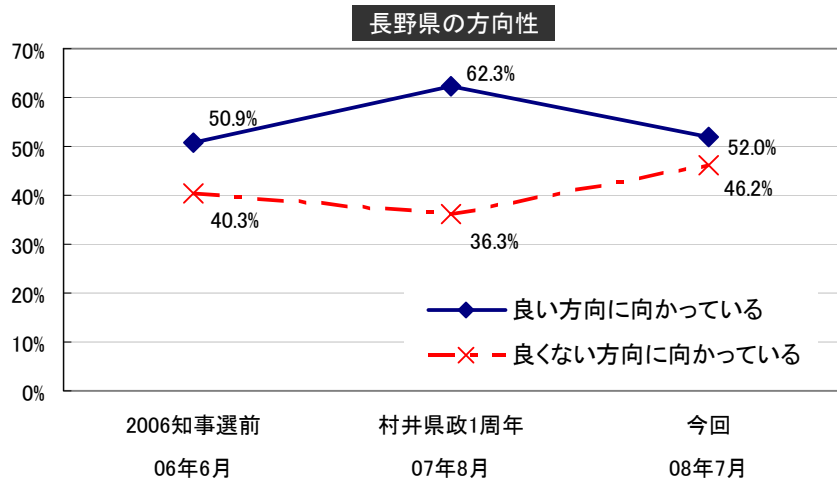


### Ⅲ 今回のポイント 今後の県政の方向

#### ★長野県「良い方向に向かっている」52% 「良くない方向」接近

村井県政が始まってからの2年間で、長野県は全般的にみて「良い方向に向かっている」が52%、「良くない方向に向かっている」は46%。就任1周年に比べて「良い方向」が10ポイント減少し「良くない方向」との差が大幅に縮小した。

「良い方向」は東北信で平均値を超えるが、中南信では低くなっている。



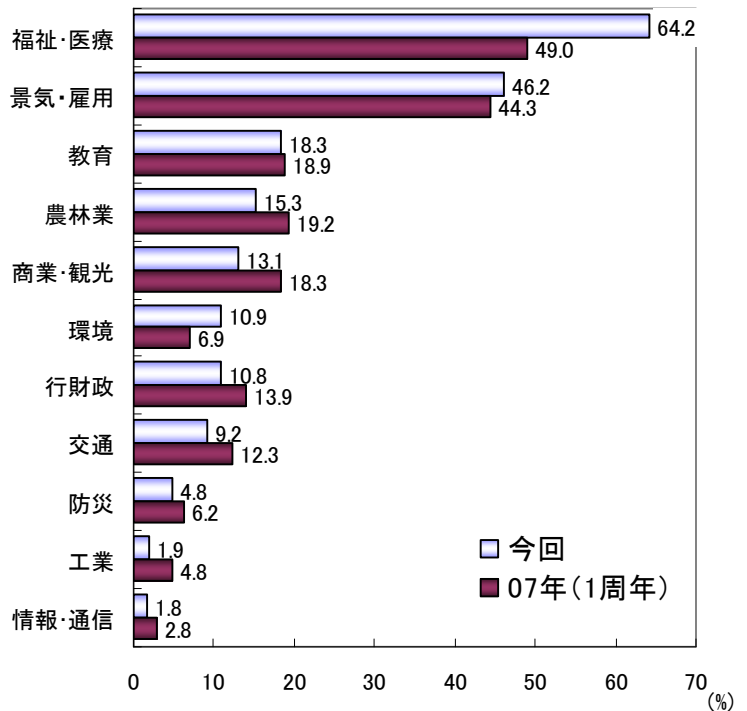
### 県政の施策

#### 優先してほしい分野 「福祉・医療」続く高水準 2番手「景気・雇用」動かず

「福祉・医療」のトップが続き、2007年の就任1周年時よりも大幅に伸びた。「景気・雇用」の2位も変わらない。3位には「教育」（前回4位）が上がり「農林業」と入れ替わった。別々だった選択肢を今回統合した「商業・観光」が5位にランクされた。

上位の「福祉・医療」と「景気・雇用」は女性で高く「教育」「農林業」「行財政」では男性で高めになっている。

60代以上が「福祉・医療」、40～60代は「景気・雇用」、「教育」には30代で高まり、それぞれのライフサイクルに直面する分野の取りくみを求めている。



※07年の「商業・観光」は2つの項目を合計した。

## 公共事業の取りくみ

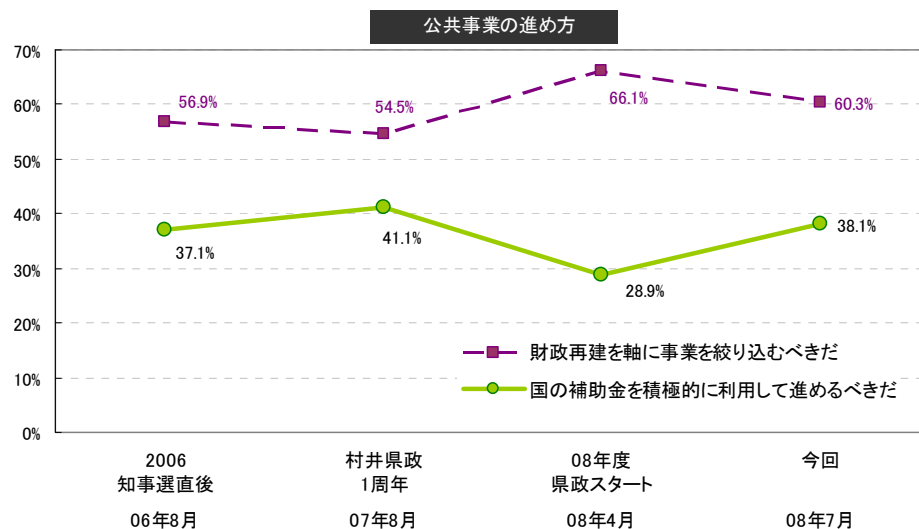
## 「財政再建を軸に絞り込み」減少しても60%台

「財政再建を軸に事業を絞り込むべきだ」が減少したものの60%の高さを維持。「国の補助金を積極的に利用して進めるべきだ」は38%で9ポイント伸びた。村井県政は浅川ダム問題で「穴あきダム建設」を選択したが、国の三位一体政策の推進と県財政逼迫の下で、公共事業絞り込みの財政再建優先は動かない。

財政再建は男性で高く、公共事業の積極推進は女性がリード。若い年代層は財政再建派が高まり、40代で77%の高率。対照的に、70代では積極推進派が60%台に乗せて逆転。

職業層では農・林・漁業が財政再建を上回る。政党支持層では自民党のみ積極推進が60%近くに達する。逆に、民主党で財政再建の優先が60%近くとなり、無党派層は70%に迫る。

政党支持層では自民党のみ積極推進が60%近くに達する。逆に、民主党で財政再建の優先が60%近くとなり、無党派層は70%に迫る。



## 知事と県民・県議会

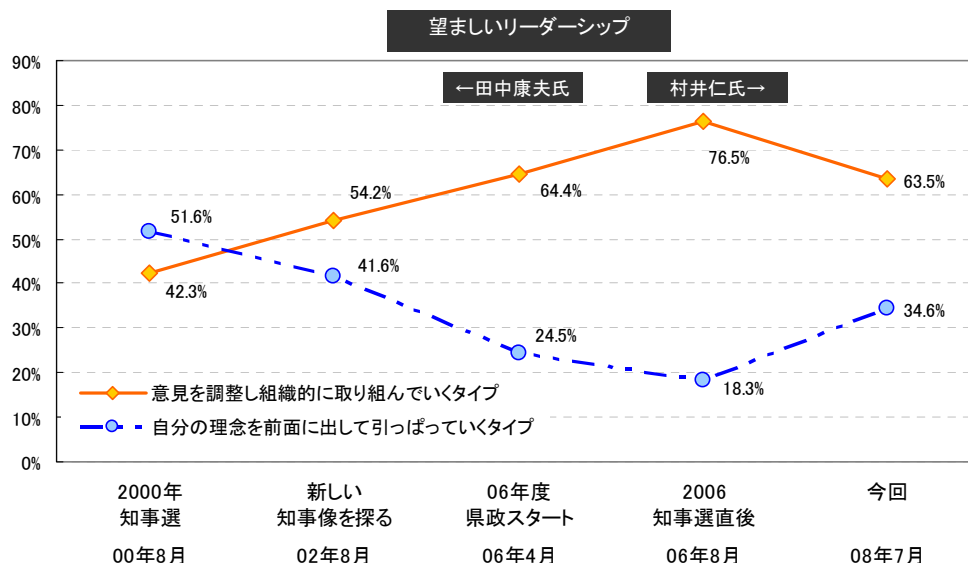
## 望ましいリーダーシップ

## “調整タイプ”64% “先陣タイプ”に大差

大別して「いろいろな意見を調整し組織的に取りくんでいくタイプ」（調整型）が64%にのぼり「自分の理念を前面に出して引っばっていくタイプ」（先陣型）は35%と、濃淡が鮮明に出た。

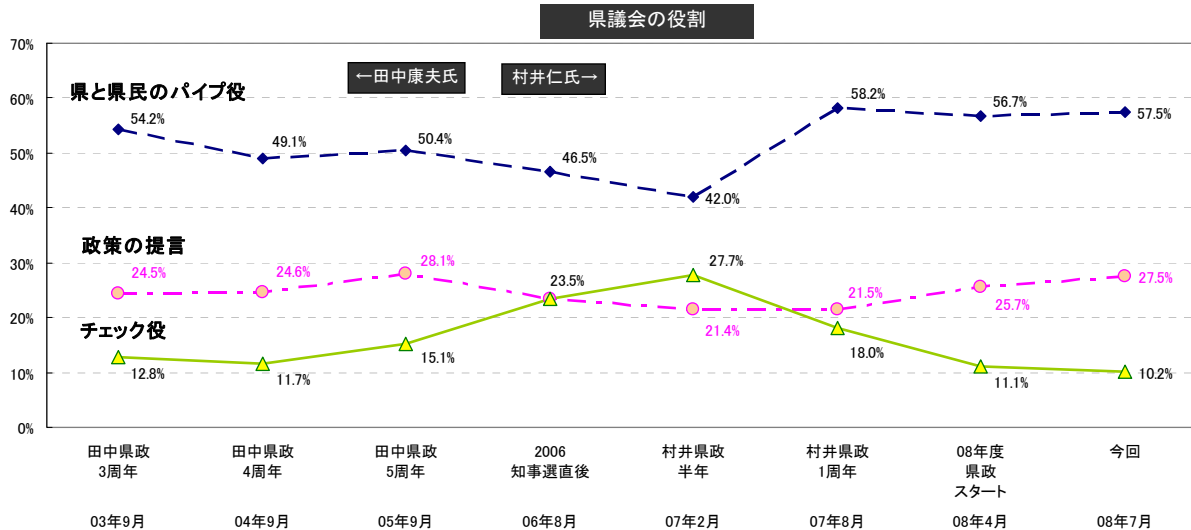
女性が調整型に肩入れし、男性は先陣型が高まる。40、70代で調整型が67%と最も高く、先陣型は20代で40%を超える。

村井県政の支持層は調整型が76%の高率。不支持層では先陣型が半数に届くが、調整型が肉薄する。



## 県議会の役割 「県民とのパイプ役」最多続き58%

県議会の役割に対する期待は「県行政・知事と県民のパイプ役」が田中前県政から一貫して最も多く、村井県政でもハイレベルが続く。2位の「県行政・知事への政策の提言」がややアップ、「県行政・知事のチェック役」は引き続き10%余にとどまる。

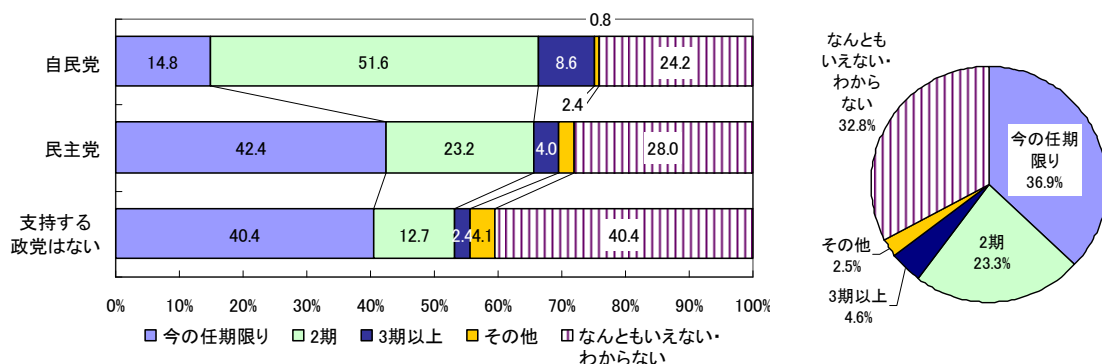


男性で「パイプ役」が50%を割り「提言役」が30%台に乗った。「チェック役」も高めで女性との違いがめだつ。この傾向は役員・管理職・自由業に共通し「パイプ役」が41%の一方で「提言役」と「チェック役」が27%で並ぶ。

村井県政の支持層で「パイプ役」が60%を突破する高率。不支持層では「提言役」と「チェック役」が上昇する。

## 村井県政の継続 「今期限り」37% 「2期」23% 3人に1人は留保

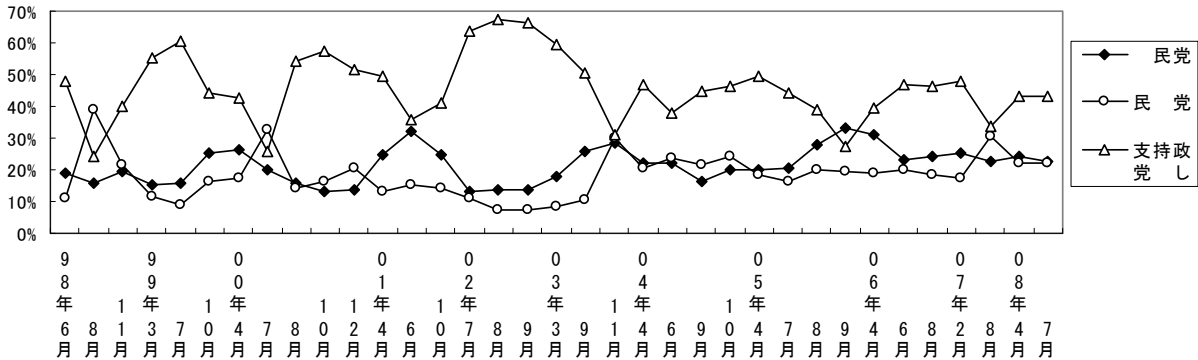
村井県政の継続について「今の任期限り」が37%と最も多くを占め「2期」は23%、「3期以上」が5%。他方「なんともいえない・わからない」が3人に1人を占める。



「今期限り」は男性で40%に高まり「2期」でも女性を引き離す。女性は「なんともいえない」が40%に迫る高さだ。年代層では40～60代が「今期限り」で高め。「2期」は70代で38%と最も高い。「今期限り」が北信で30%に届かず「2期」が高めになっている半面、中南信で「今期限り」が高くなっている。「2期」が村井知事支持層で40%余、自民党では半数を超えるが、民主党や無党派層では「今期限り」40%台に達し最も多い。

## 支持する政党

### ◆自民、民主22%台で横一線 支持なし43%余続く



自民党が22.6%、民主党は22.0%と横一線に並ぶ。昨年夏の参院選勝利の勢いで、民主党は支持率を30%台に乗せたが、今年4月調査で自民党に僅差で逆転され、衆院解散・総選挙を控えて拮抗状況が続く。3位は共産党がキープ。小差で公明党、社民党、新党日本、国民新党の順で続く。支持政党なしは43.2%のハイレベルのまま。

	98年			99年			00年					01年			02年		
	6月	8月	11月	3月	7月	10月	4月	7月	8月	10月	12月	4月	6月	10月	7月	8月	9月
自民党	19.1%	15.6%	19.5%	15.4%	15.8%	25.3%	26.2%	19.8%	16.0%	13.3%	13.8%	24.9%	31.9%	24.5%	13.3%	13.9%	13.7%
民主党	11.0%	39.0%	21.8%	11.8%	8.9%	16.5%	17.4%	32.4%	14.3%	16.3%	20.5%	13.1%	15.3%	14.1%	11.0%	7.5%	7.4%
支持政党なし	47.9%	24.2%	39.8%	55.0%	60.6%	44.1%	42.4%	26.0%	54.1%	57.5%	51.5%	49.6%	36.0%	41.3%	63.7%	67.6%	66.2%

03年			04年				05年				06年			07年		08年	
3月	9月	11月	4月	6月	9月	10月	4月	7月	8月	9月	4月	6月	8月	2月	8月	4月	7月
17.9%	25.8%	28.2%	21.9%	22.1%	16.1%	19.9%	19.9%	20.3%	27.8%	33.1%	30.8%	23.0%	24.1%	25.2%	22.6%	24.0%	22.6%
8.3%	10.6%	29.9%	20.5%	23.8%	21.5%	24.4%	18.3%	16.2%	20.0%	19.7%	18.8%	20.1%	18.5%	17.5%	30.3%	22.0%	22.0%
59.4%	50.5%	30.9%	47.1%	38.0%	44.7%	46.3%	49.4%	44.1%	38.8%	27.6%	39.5%	47.1%	46.1%	48.1%	33.5%	43.1%	43.2%

自民党は男女にほとんど開きはないが、民主党はいぜん男性27%—女性17%の隔たりがめだつ。年代層で、自民党は70代の37%を最高に60代でも優勢。民主党は30、40、50代でリードしているが、支持率自体は60～70代の方が高い。20代は両党互角で支持なしが66%の高率。選挙区で自民党が2、4区で優位にあり、民主党は1、3、5区でリードする。

村井県政の支持層は自民党35%—民主党21%、不支持層では自民党8%—民主党24%で、支持政党なしが半数を占める。

	全体	性別		年代			選挙区				
		男性	女性	30代	50代	70歳以上	1区	2区	3区	4区	5区
自民党	22.6%	22.1%	23.1%	13.6%	16.1%	37.0%	23.4%	26.6%	16.4%	28.0%	20.8%
民主党	22.0%	27.0%	17.1%	18.2%	24.2%	26.1%	25.5%	21.9%	22.9%	14.6%	22.1%
共産党	4.6%	4.6%	4.5%	7.6%	4.8%	6.5%	2.9%	5.5%	5.0%	6.1%	3.9%
公明党	2.5%	1.8%	3.1%	3.0%	4.0%	2.2%	0.7%	2.3%	2.9%	3.7%	3.9%
社民党	1.6%	1.4%	1.7%	-	0.8%	1.1%	0.7%	0.8%	0.7%	2.4%	5.2%
支持政党なし	43.2%	40.9%	45.5%	56.1%	46.8%	26.1%	43.1%	38.3%	50.0%	40.2%	41.6%